

# 一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月3日から開催される第2回七飯町議会定例会において、次のとおり一般質問をする旨、各議員から通告がありましたので、通知いたします。

令和 6 年 6 月 3 日

七飯町長 杉 原 太 殿

七飯町議会議長 木 下 敏

目 次

質 問 者	質 問 事 項	ページ
1. 平 松 俊 一	単身高齢者対策について	1
	ななえ空き家・空き地バンクの制度について	2
	セカンド GIGA について	3
2. 上 野 武 彦	七飯町の医療体制の維持を	4
	図書館建設こそ優先すべき課題である	5
	七飯町も本気の子育て支援策を	6
	道の駅合併浄化槽対策工事について	7
3. 田 村 敏 郎	「健康アプリ」の導入について	8
	I C T（情報通信技術）を活用した教育の促進について	8
4. 江 口 勝 幸	町内会・自治会・子供会の現状と加入促進について	9
5. 神 崎 和 枝	子育て支援の充実に向けて	1 0
6. 中 川 友 規	大規模な公共施設の新築・改築・長寿命化工事の具体的な年次計画とそれに対する統括監及び教育監の役割は	1 1
	赤松街道のケヤキ伐採後の対策について	1 2
	大川の管理について	1 2

通告順位 及び質問者	要 旨	
1. 平松俊一	1	<p>単身高齢者対策について</p> <p>内閣府の「令和5年版高齢社会白書」に我が国の総人口に占める65歳以上人口割合は、2022年（令和4年）10月時点では29.0%（3,624万人）となると示されている。</p> <p>2022年の国民生活基礎調査によると65歳以上の者のいる世帯数は2,747万4千世帯で全世帯総数の50.6%となり、このうちの873万世帯が65歳以上の単身世帯であると発表されている。</p> <p>単身世帯に関連する新聞報道や自治体などの多方面からの発信には「生活意欲の低下」「消費者トラブル」「孤独死」「認知症などの進行」などの問題を抱えていることも数多く報告されている。</p> <p>このような事案も含めた単身高齢者対策に政府は新しい制度を検討中であるが、すでに一部自治体では政府に先駆けて「終活あんしんセンター」なる窓口を設け、あらゆる高齢者問題に対応している所も出ている。</p> <p>そこで当町の現状や今後の対策について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内での単身高齢者（65歳以上）の世帯数とその確認について</li> <li>2. 単身高齢者から寄せられる相談の窓口について</li> <li>3. 現在町内で行われている単身高齢者向けのサービスについて</li> <li>4. 住宅入居等支援事業について</li> <li>5. 単身高齢者には老人性うつが疑われる割合が高いと言われるがその対策について</li> <li>6. エンディングノートの作成について</li> <li>7. 成年後見人制度の利用状況について</li> </ol>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	2	<p data-bbox="608 367 1251 403">ななえ空き家・空き地バンクの制度について</p> <p data-bbox="560 468 1390 604">平成 25 年より始められた当町の「空き家・空き地バンク」は近郊自治体に先駆けて開始されたところであるが、期待した成果に結びついていない状況である。</p> <p data-bbox="560 618 1390 754">特に空き家に関しては各家庭の事情で「家を空けている」のか、「空き家」になったのかが分かりづらい物件もかなり増えていると思われる。</p> <p data-bbox="560 768 1390 956">町の調査で判明している空き家数も、この点をはっきりさせることが出来ると、住居として利用できる可能性が格段に向上し、地域の活性化にも相当寄与するものと考え、以下の点について伺いたい。</p> <ol data-bbox="600 1021 1390 1406" style="list-style-type: none"> <li>1. 町ホームページサイトの最近の閲覧数と成約実績について</li> <li>2. サイト内容の更新やリンク付けについて</li> <li>3. 登録業者が保有している物件情報を「空き家・空き地バンク」にリンクさせることについて</li> <li>4. 相続放棄物件の対応について</li> <li>5. 相続土地国庫帰属制度について</li> <li>6. 登録物件の管理について</li> </ol>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	3	<p>セカンド GIGA について</p> <p>教育デジタルトランスフォーメーション（教育 DX）における GIGA スクール構想は、児童生徒の情報活用能力の向上やデジタル人材の育成などを基本施策として、一人一台の端末を活用させることを文部科学省が令和元年から始めたものである。</p> <p>使用する機種やソフトの選択は各教育委員会に委ねられているが、先行した一部地域ではバッテリーのトラブル事例などの発生も見られる中、機種の交換時期を迎えつつあり、この事を「セカンド GIGA」と称している。</p> <p>七飯町においては、授業での取り組み開始時期も機材の調達や学校側の受け入れ態勢によって多少のタイムラグが発生していたが、現在は順調に推移しているようである。</p> <p>しかし、機種交換の時期も近づいており、以下の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内小中学校及び義務教育学校での端末を利用した授業の進捗状況について</li> <li>2. タブレット端末の家庭での活用状況について</li> <li>3. タブレット端末機械本体のトラブルについて</li> <li>4. 電子黒板などの周辺機器との共有について</li> <li>5. 今後計画されるタブレット端末の更新について</li> </ol>

通告順位 及び質問者	要 旨	
2. 上野武彦	1	<p>七飯町の医療体制の維持を</p> <p>この件について、令和5年第4回定例会で質問しているが、以下の点について伺いたい。</p> <p>1. 前回の質問への答弁で、閉院したクリニックの施設を活用して、医療継続の方向での努力をするという件に関しては、七飯町や渡島での地域医療対策協議会、渡島医師会、その他の各種医療機関に情報提供し、協力を求めているとの答弁があったが、どのような結果になっているのか。</p> <p>また、閉院したクリニックの施設の状況は、医療器具などを含め残っているのか現在の状況について。</p> <p>2. ななえ新病院の施設で、函館から非常勤で医師を呼び、週1回でも診療をすることが出来ないか検討することも必要ではないかと質問しているが、その可能性は検討しているのか、その結果について。</p>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>2 図書館建設こそ優先すべき課題である</p> <p>令和6年1月30日開催の第3回社会教育施設（体育館・図書館）整備検討委員会に杉原町長が出席し、図書館などの建設を保留とし、これまで計画もなかった5つの事業を優先して実施する方向を打ち出した。これに関し以下の点について伺いたい。</p> <p>1. 図書館は幼児から、高齢者、障がい者迄全世代の町民が利用し、交流する文化活動の拠点となる施設である。北海道の図書館統計令和5年4月1日現在にて、七飯町の図書室と八雲町の図書館を比較してみると、七飯町では図書室の来館者数は5,296人で、図書の貸出数は16,871冊であった。八雲町では来館者数は32,872人で、年間の図書の貸出数は61,346冊であった。</p> <p>また、七飯町の図書室の図書等購入費は、486,000円で、八雲町は、人口では七飯町の半分の町であるが、年間の図書等購入費は5,806,000円で、七飯町の11.9倍、図書館の面積は1,726.8㎡で78㎡の七飯町の22.1倍である。</p> <p>又、七飯町の図書室では図書館司書も置いていないが、八雲町では5人の図書館司書がおり、学校の図書室にも巡回をしているとのことである。</p> <p>このように図書館のあるなしで住民への文化的なサービスに違いが発生しているのが実態である。</p> <p>これまで25年間も図書館のない町となってきた七飯町としては、図書館建設は優先して取り組むべきではないか。</p> <p>2. 図書館の建設については七飯町の第6次総合計画の期間内で建設すべきと考えるがどうか。</p>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	3	<p>七飯町も本気の子育て支援策を</p> <p>多くの自治体にとって人口減少対策は大きな課題である。</p> <p>令和6年4月厚生労働省が公表した人口動態統計特殊報告によると七飯町の合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に産む子供の数）は、人口の維持に必要とされている2.06より大きく下がって1.35のレベルであり、人口減少が深刻な状況となっている。少子化の最大の原因は経済的な理由であると考え。そこで、七飯町として、以下のような子育て支援策を実施し、人口減少対策に取り組むべきと考えるが町長の見解を伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て支援策として、幼稚園、保育園入園補助制度を実施</li> <li>2. 学校給食費無償化を実施</li> <li>3. 学童保育料無償化を実施</li> </ol>



通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p data-bbox="507 369 1120 405">4 道の駅合併浄化槽対策工事について</p> <p data-bbox="561 472 1390 705">令和5年第4回定例会で「道の駅グリース阻集器設置工事」2,200千円の補正予算案を可決、令和6年1月設置工事開始、3月14日採水、水質調査実施、その結果を踏まえ4月18日の臨時議会で、浄化槽適正化工事の補正予算を議会に提案し採決されている。</p> <p data-bbox="561 723 1390 857">今回、浄化槽適正化工事を実施し、酵素方式により油を処理する対策を実施することになったが、この件について次の点について伺いたい。</p> <ol data-bbox="592 925 1390 1406" style="list-style-type: none"> <li>1. 酵素方式とはどのような酵素で油をどのように処理するのか。</li> <li>2. こうした酵素方式で合併処理浄化槽の機能を高めBODの値を引き下げる処理をしている具体的実施の例があればその実例について。</li> <li>3. 今回の浄化槽適正化工事は、油の排出がBODの値を引き上げている最大の原因であるとしての工事であるが、そもそも現在設置されている合併浄化槽の330人槽は来客数に相当する処理能力を満たしていないと思われるがその点について問題はないか。</li> </ol>

通告順位 及び質問者	要 旨	
3. 田村敏郎	1	<p>「健康アプリ」の導入について</p> <p>令和6年度七飯町施政方針に「健康アプリの導入を目指し」とあるが、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「健康アプリ」の具体的な内容について</li> <li>2. 実証実験と本格運用について</li> <li>3. 経費負担について</li> </ol>
	2	<p>I C T（情報通信技術）を活用した教育の促進について</p> <p>令和6年度七飯町教育行政方針にI C T（情報通信技術）を活用した教育の促進について謳われているが、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. G I G Aスクール構想の学習端末による具体的な学習内容及び学習成果の利活用について</li> <li>2. 学習端末により得た児童生徒の個人情報の利用目的を定め、保護者にも周知しているのか</li> <li>3. 学習端末の管理等の委託業者との利用規約内容について</li> </ol>

通告順位 及び質問者	要 旨	
4. 江口勝幸	1	<p>町内会・自治会・子供会の現状と加入促進について</p> <p>課題である地域の見守りや、安全、安心、福祉や防災などを推進し、地域コミュニケーションの基盤をより強固にするためには町内会・自治会・子供会の活動が不可欠である。まちづくりにおいて、各団体は七飯町役場にとって欠かせないパートナーともいえる存在であり、今現在も地域において各団体の皆様がお互いに支え合い、住みよいまちづくりを目指して御尽力いただいている。</p> <p>しかしながら昨今、町内会・自治会・子供会の加入率の減少や役員の高齢化に伴い、後継者や担い手不足の影響によって各団体の円滑な運営に支障をきたしかねない状況となっている。</p> <p>近隣市町村でも人口減少が危惧されているなか、七飯町も例外ではなく特に人口の減少や転入、転出などの流動性の高さにおいて、各団体の存在意義や自治意識の低下により今後も各団体の衰退によって町職員への負担が増え円滑な町行政サービスに支障をきたす考えも踏まえ5点伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 過去10年において、七飯町内で活動している町内会・自治会・子供会への加入率の推移について</li> <li>2. 役員の高齢化や担い手不足が目立っている各団体の現状について町はどのように考えているか</li> <li>3. 外灯の維持費については町内会等の会費によって賄われているが、数年後に更新される際の更新費用についての町の考え方は</li> <li>4. 町内会・自治会・子供会が存在しない、または消滅している地区の現状について町はどのように考えているか</li> <li>5. 各団体への加入促進について町ではどのような周知をおこなっているか</li> </ol>

通告順位 及び質問者	要 旨	
5. 神 崎 和 枝	1	<p>子育て支援の充実に向けて</p> <p>子どもたちを取り巻く環境は近年大きく変化している。幼児教育は特に人間形成の基礎が培われる重要な時期である。</p> <p>昨今は地域社会における子育て支援の施策の充実が求められており、子どもたちが心豊かにたくましく生きる力を身に付けられるよう、また、全ての人が子ども子育て中の方々を応援するといった意識改革を進めることが必要であると考えます。</p> <p>そこで、七飯町の現状や取り組みについて質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育ソーシャルワーカーの導入について 養育不安や子どもへの虐待といった親子の問題、貧困やDV、多国籍化する家庭の問題、疾病や障がい、さらには保護者と保育者のコミュニケーショントラブルなど、保育に対する不安は様々である。通常の保育園で行う保護者支援では対応しきれない場合も少なくないことから、保育ソーシャルワーカーを導入する考えはないか。</li> <li>2. 国は子ども未来戦略方針を踏まえ、令和5年6月の閣議決定において、「こども誰でも通園制度」を創設し、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できることとした。この制度に対しての町の取り組みはどのように考えているか。</li> <li>3. 第2期七飯町子ども子育て支援事業計画の成果と今後の計画は。</li> </ol>

通告順位 及び質問者	要 旨	
6. 中川友規	1	<p>大規模な公共施設の新築・改築・長寿命化工事の具体的な年次計画とそれに対する統括監及び教育監の役割は</p> <p>本年度から実施する七飯中学校の長寿命化工事や学校のエアコン整備工事を皮切りに、大中山中学校の長寿命化工事、本町学童保育クラブの改築、ゴミ処理施設の延命化工事、体育館の改築、図書館の新設など建設工事が目白押しであり、多額の工事費を伴うことから当然計画的に進めていく必要がある。</p> <p>一方で、町長は、この4月から統括監及び教育監を配置した。この意味合いは、行政の無駄を見直し不要な支出を削減することは当然のこととして、今年度から着手した大規模工事等の事業費を捻出することを念頭においたものと思う。</p> <p>そこで、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の第5次七飯町総合計画の計画期間終了まで2年を切った中で、第6次総合計画策定に向けた取り組みが進んでいることと思うが、主な建設工事及び事業費の年次計画について</li> <li>2. 建設工事实施に伴う国・道等の補助金、起債、一般財源等の財源内訳について</li> <li>3. 各種事業に対する統括監及び教育監の役割は</li> </ol>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	2	<p>赤松街道のケヤキ伐採後の対策について</p> <p>昨年8月に七飯町松並木環境緑地保護地区に指定されているケヤキの木を伐採し、議会の特別委員会に対し、原因究明、再発防止策、今後の植え替え等、町の今後の考えを示されている。</p> <p>そこで次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケヤキの木伐採後の植え替え等の状況は</li> <li>2. 現在の赤松街道の管理体制は</li> <li>3. 今後の赤松街道の構想は</li> </ol>
	3	<p>大川の管理について</p> <p>全国的に自然災害が多発している現状であり、町内においても豪雨災害等も発生するなど、他人ごとではない現状である。</p> <p>これまでも、災害対策は進めてきていると思うが、現状を見ると大川の豪雨時は、国道5号線の橋を越水するまでもう少しと迫ることもあった。</p> <p>そこで次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大川の草木の状況</li> <li>2. 大川の現状の氾濫対策は</li> <li>3. 今後の対策は</li> </ol>